

# グローバル人材の育成をめざして

## ～公立校全国初 八町小「英語イマージョン教育コース」開設～

地域の  
特色ある  
活動

愛知県豊橋市教育委員会

### 1 はじめに

日本有数の自動車輸出入拠点である三河港を有する豊橋市は、愛知県東三河地方に位置する人口約38万人の中核市です。

自動車関連産業が盛んなため、市内には多くの外国人労働者が暮らしており、その数は人口の約5%に当たる17,000人に上っています。そして、市内小中学校に在籍する外国人児童・生徒数は、2,000人を超え、この20年の間に約4倍となり、毎年増加し続けています。

本市では、増加を続ける外国人児童・生徒に対し、よりきめ細やかな支援を始めています。特に中学校に直接編入してくる生徒は、日本語が話せないため中学校生活に馴染めず、不登校、非行に走る場合も少なくありません。そのため、初期の支援が重要と考え、市内の中学校2校に外国人生徒初期支援コースを設けました。そこに通う生徒は、10週間の集中的な日本語指導プログラムを経て、日本の学校文化や日本語を身につけ、在籍校に戻っていく仕組みです。このように就学義務のない外国人児童・生徒にも対策を講じています。

### 2 豊橋市から発信する英語教育

外国人との共生を掲げる本市は、平成17年度に英語教育推進特区（平成23年度からは教育課程特例校）を申請、認可され、「英会話のできる豊橋っ子育成事業」を推進してきました。小学3年生から中学3年生までの小中一貫カリキュラムを独自に作成し、週1

回の「英会話」の授業の先行実施や夏休みに希望者を対象にして行う英語活動などの実践に取り



り組んできました。平成25年度には、英語教育全国研究発表会を開催し、小中各1校を会場校とした授業公開を通して、その成果と課題の検証を行いました。

新学習指導要領で小学校英語の教科化が示された平成29年度には、教科の授業に留まらず学校生活の様々な場面で英語に触れる機会を創出し、子供が自然に英語のコミュニケーション力を身に付けることをねらいとした「英語で学ぶモデル事業」を八町小学校において実践しました。令和2年度からは、それを基盤に国語と道徳以外の全教科において英語を用いて行う「イマージョン教育コース」を八町小学校で開設することになっています。このコース開設は、本市が先進的に取り組んできた英語教育の集大成として捉えています。

### 3 イマージョン教育コースの概要

「英語を用いたコミュニケーション力を自分の長所として生かし、グローバル社会で活躍できる人材の育成」が本市のイマージョン教育



のねらいです。

八町小学校は、学習指導要領の内容（国語、道徳以外）を、イマージョン授業で実施できるように教育課程特例校としました。国語と道徳以外は、原則、英語を用いて授業を進めます。しかし、学年や児童の実態に応じて、英語を用いる頻度を変えるとともに、教科のポイントとなる単語、重要語句等についても日本語を併用するなど、学力の定着を図りながら英語のシャワーを浴びせます。また、体育や音楽などの実技科目は、通常の学級と合同で実施する機会もあり、「英語で学ぶモデル事業」の広がりも図っています。

イマージョン教育コースの児童数は、各年20人とし、市内在住の小学生を対象に受け入れます。入級希望者が定員を超過した場合は、抽選で入級者を決定していきます。帰国子女や英語を母語とする国の国籍を有する児童については、定員の20人とは別に、5人程度を受け入れ可能としています。

市内全域から通学してくる児童は、豊橋に残る路面電車などの公共交通機関を用いて通うことになります。

#### 4 豊橋版イマージョン教育の特徴

英語を用いるとはいえ、公立小学校であるため、新学習指導要領に沿った授業を行い、「学習内容の確実な定着」をめざします。教科書は本市が採択した教科書を使用します。その他の教材も基本的には、八町小学校の通常の学級と同じものを使用します。そして、これらの教科書や教材を英訳した補助プリントを用意し、英語を用いて学習内容を理解できるように支援していきます。

イマージョン教育コースの授業は、基本的に日本人教員と外国人語学指導員（ALT）のチーム・ティーチングにより授業を進めます。2人の教員は、英語でのやり取りを巧み



に行いながら授業を進めるため、児童は、進んで、物おじすることなく英語を発するようになります。「習うより慣れる」という言葉のとおり、児童は、児童と教員、児童同士の関わり合いの中で、互いのコミュニケーション力を高める姿が期待できます。

また、子供にとって最大の教育環境は、子供を取り巻く「人」と考え、イマージョン教育コースの担当者は、本市の地域性、子供の実態などを熟知し、長年にわたって本市の教育活動を引き継いできた教員、ALTが担います。イマージョン教育コースの保護者の方々には、八町小学校の教育活動、PTA活動に積極的に参画していただき、よりよい教育環境をともに築きたいと願っています。

#### 5 おわりに

公立小学校で全国初となるイマージョン教育には、市内外からの関心が高く、現在先行実施している八町小学校3年生の算数におけるイマージョン授業（選択制）には、多くの取材や視察があります。

現在、八町小学校の教職員、保護者、地域の方々、本市教育委員会がONE TEAMとなり、4月のコース開設に向けた環境整備や授業作りの準備などを着々と進めています。イマージョン教育コースの開設を好機とし、本市がこれまでに培ってきた「一人一人の子どもを大事にした教育活動」を生かした「子どもの夢を応援するまち 豊橋」の実現に向けた特色ある教育活動の推進に、これからも取り組んでいきたいと考えています。



教育長  
山西 正泰